

クラス通信

麻生校・円山校

クラスユニック小学部

新年 1 月号

2025・1.14発行

保護者の皆様へ ☆お子様と一緒に内容をご覧ください

副理事長・副校長 福島 拓

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、中学受験組の小学生にとって、1 月は入試の本番であり、毎年一喜一憂のある時期です。最も早いところでは受験当日の夜、もしくは遅くとも 3 日以内に発表されます。年単位の努力を重ねて取り組んできた勉強の成果が 1 月上旬のたった1週間に集約され、あっという間に結果が出てくるのですから、まさに怒涛の1週間となります。今年も受験生全員が無事第一志望に合格ができていると信じております。

受験生以外の学年にとっては、1 月はウィンタースポーツの月です。残念ながら今年から冬休みも短くなり、時間が取れなくなってきましたが、できるだけ冬の北海道を味わって雪に親しむようなひと時を過ごしてみてください。

< 中学受験を終えた「中高一貫校」入学予定の皆さんへー今後の学習について >

中学受験を終えて、一息ついているご家庭も多いことと思います。

しかし、これから入学する「中高一貫校」はほとんどが競争原理の中で生徒を伸ばす方法をとっています。受験後、仮に春までのんびりしていようなどと思って過ごしていると、入学後のスクールライフは想像していたものとは全くかけ離れたものになってしまう場合もあります。

では、入学後に充実した学校生活を送るためにはどう準備したらよいのか？下記に具体的な内容について日を追って記載致しましたので、参考にして下さい。



1 月中旬以降～2 月初旬・・・重点教科「算数」・「国語」の総復習（特に小 5、小 6 内容）

① 算数の総復習

苦手項目について小学校の教科書や、受験のために使った問題集、「四谷大塚クラス」で学んだ人はそのテキストを開いて見直してみるようにしましょう。勉強していて、間違った問題は当然ですが、時間がかかったり、つまづいた箇所についてももう一度解いてみるのが大切です。

② 国語では漢字の復習

各学年の最終にあたる 3 学期を迎えました。学校で進める教科内容については、授業の中でしっかりと学習、その上で教科書の巻末、四谷大塚テキストであれば「漢字の学習」ページから「読み仮名」を見て漢字が書けるか、「漢字」を見て読み仮名が書けるだろうかと自分に試してみることで、算数で言えば「計算練習」のように問題形式で書いてみましょう。また意味が分からない熟語や、文法事項など小学校の内容は中学に進んですぐに必要な知識です。この期間に時間を決めて毎日コツコツやってみましょう。

2 月初旬～新学年・新入学・・・数学・国語は先取り学習

① 数学・・・代数・幾何（図形）分野の先取り学習です。目標は前期中間考査で範囲になりそうなどところまで。まずは代数で計算ミスをしないようにすることが重要です。定期考査ではこの

< 裏面に続く >

計算ミスでの失点で順位を大きく下げってしまう生徒もいます。数学は算数のように答えがあつていけばよいというのではなくプロセスが重要ですから、途中の計算を省きすぎるのは良くありません。自身でしっかり見直しのできるように丁寧に計算過程を書き残すことが重要です。

② 国語・・・中学校の教科書を先取り学習。

まず教科書の音読をお勧め致します。読みながら内容が頭に入っていくというプロセスを通して文章の面白さや、興味関心にもつながることと思います。併せて文章中に出てきた不明な漢字、語句を調べておくのも良い勉強法です。

③ 英語・・・教科書を手にしたらまず全部に目を通してみる。

ほとんどの生徒が小学校での会話や英検などの学習を通して、発音（耳）で記憶していたことがらが、ルール（文法）に基づいて書いたり読んだりする学習になります。また新教科書では高校内容の文法知識などが中学校へ移行するなど知識量は増えます。まずは「品詞」を意識した学習をしていきましょう。また、単語のスペルも思い込みで間違えたままになる場合もあります。答え合わせは細心の注意で、また塾などで他の人に見てもらうことも躊躇してはいけません。

<学年進級に向けて—今後の学習>

——今回は「算数」について——

積み上げ式学習です。どこかの分野（例：繰り上げ、繰り下げのある計算や分数の概念等）がなんとなくわからないままですすんでしまうと、当然次の学年でとても苦労します。「何となくわかった」で、進まないよう当校でも勿論見ていきますが、ご家庭でも練習しておくの良いと思います。

各学年の到達ポイント

2年生：かけ算は完璧にしましょう。

各段を暗唱できるようになったら、逆からいってみるなど、またカードを利用するなどしてバラバラに言ってみましょう。特に7・8の段が注意です。

3年生：四則の筆算がきれいに書けるか確認しましょう。

縦のラインをきれいにそろえることができないと、桁が増えた時に苦労します。桁の意識をしっかり持ちましょう。

4年生：小数点の扱いが四則でぶれなくできるように、しっかり考えましょう。

できれば単なる暗記ではなく、なぜそのような操作が必要なのか、考えて計算してみると興味がわきますよ。

5年生：倍数と約数、単位量当たりの大きさ、速さ、百分率など、中学へ続く概念を学習する大事な内容です。学習としては大変な個所ですが、苦手を作らないようにしましょう。

6年生：分数の四則計算を練習しましょう。

足し算と引き算の通分をたくさん練習してみましょう。また分数の割り算は、割る数をなぜひっくり返して、割られる数との掛け算にするのかを考えてみて下さい。

麻生校:001-0037 札幌市北区北 37 条西 3 丁目 3-15 ☎ 011-716-7162

円山校:064-0820 札幌市中央区大通西 23 丁目 1-1 ☎ 011-613-7755



1月、2月の予定の詳細はQRコードからホームページでご覧下さい。

R7年1-2月円山校小学部



R7年1-2月麻生本校小中学部

